



## 東地中海地域ニュース

### レバノン：ベイルート市内外での戦闘の影響

(5月13日付現地各紙)

7日のゼネストをきっかけにベイルート市内外で発生した騒擾は、一部において食品価格の引き上げといった事態を引き起こし、レバノン経済にも影響を与えている。

#### 1. 食料品（アーワル飲食料・消費財輸入組合会長発言）

(1) 野菜の缶詰、魚、肉及び牛乳等の必要不可欠な食料品は十分な量が存在している。今般の事態発生直後、食品価格が一時上昇したものの、現在では通常価格に戻っている。小売業者に対して価格引き上げを行わないよう要請した。

(2) 経済・貿易省筋によれば、小麦は十分な量がサイロに貯蔵され、定期的に製粉業者に供給されているので、2006年夏のイスラエルとの戦争の時とは状況が異なっており、小麦やパンの品不足は生じない。

#### 2. 石油製品（アブ・ハムジ可燃物製品企業組合会長発言）

石油の貯蔵量は十分にあり、ガソリン等の石油製品の品不足は生じない。

#### 3. 金融（サラメ中央銀行総裁発言）

(1) レバノン国外への異常な送金は発生していない。内戦以降最悪の政治・治安状況にもかかわらず、銀行は通常業務を行っている。

(2) 銀行に対するレバノン・ポンドから米ドルへの両替要求はあるものの、過剰なものではなく、予想された範囲のものである。

(3) 中央銀行はこれまでも、レバノン・ポンドを安定した状態に保つことを名言してきた。利子率はこのまま据え置く。

(4) 8日から閉鎖されていたベイルート証券取引場は、12日に場外取引を再開した。株相場は若干下げた程度で、投資家は冷静に反応している。

#### <参考>レバノン情勢 - 2008年5月暴動

05-07 労働者らによるストライキが、ヒズボラ支持者と政府支持者の間の衝突に発展、ヒズボラの支援者らは空港までの道を封鎖、政府支援者の側との散発的な銃撃が発生した。

05-11 ベイルート東部 Aytat で、午後2時頃、ジュンブラート派と親シリア派との間で戦闘が勃発。戦闘で女性1人が死亡。一連の戦闘での死者は38人。レバノン国軍は、トリポリに展開。

05-11 レバノン国軍は、ベイルート市内での警戒活動を開始。

05-11 イスラエルのラモン副首相は、ヒズボラがベイルートを占拠した以上、レバノンは

ヒズボラの国家だと見なすと述べた。シャハク元参謀総長は、イスラエル軍放送で、レバノンがヒズボラ国家になれば、軍事的にはより単純になり、レバノンを攻撃すればすむと述べた。

05-11 アラブ連盟の緊急外相会議がカイロで開催され、ヒズボラと政府派の対立を仲裁するためムーサ事務局長、カタルのハマド首相ら代表団を調停のためにレバノンへ派遣することを決定した。

05-11 シリアのバッシャール・アサド大統領は、イエメンのサーレハ大統領と電話会談し、レバノン情勢を協議した。

05-12 レバノン軍は、13日から戦闘を停止させるために法に従い武力を行使するとの声明を発表した。

05-12 プッシュ大統領は、14日からのイスラエル、サウジアラビア、エジプト訪問を前に、これら諸国とレバノン問題について話し合うとした。プッシュ大統領は18日にシニオラ首相と会談する予定。

05-12 レバノン国軍は、武装勢力間の戦闘を、武力を行使しても制止すると声明。衝突防止は、13日の午前6時に発効する。

05-12 シリアの社会労働党は、レバノンにおけるシリア人労働者攻撃を非難。11日に、シリア人労働者の乗るバスが銃撃され4人が死亡、7人が負傷。

05-13 サウジアラビアのサウド・ファイアル外相は、ヒズボラをイランが支援していると非難。これに対し、アフマディネジャド大統領は、外相の発言は個人的なものでアブドゥラ国王の意見を反映したものでなく、イランはレバノン内政に介入しない唯一の国であるとした。

05-13 レバノンの政治筋によると、アラブ連盟は今週末カタルで、レバノンの与党と野党両派を招いた会合を開催するとした。レバノン軍は、市内の秩序回復のための巡回を強化。

05-13 レバノン現地紙は、7日のゼネスト後の戦闘激化で、ベイルート市内での一部食料品が値上がりしていると報道。

05-14 レバノン当局は、先週の銃撃戦開始後の死者65人、負傷は200人だとした。

05-14 米中央軍の司令官 Martin Dempsey は、短時間ベイルートを訪問した。大使館で、国軍司令官、国防相と会談。米国は、レバノン国軍への援助増額を検討しており、議会に早急な承認を要請すると報道された。

05-14 レバノン内閣は、先のヒズボラに対する措置を撤回することを決定。国益を考慮した決断とされた。ベイルート市内では、決定後、祝砲が撃たれた。

05-14 エルサレムを訪問しているプッシュ大統領は、イランがヒズボラを使ってレバノンを不安定化させていると批判。

05-15 レバノンの中東航空は、パリからの便の運用を再開。反政府グループは、空港への道路の障害物の撤去を開始。

05-15 レバノンでの約1週間の衝突での死者65人、負傷200人。

05-15 レバノンの Issam Fares Center think tank の Abdullah Bouhabib(元駐米大使)は、ヒズボラは今回の抗争で、武力はイスラエルのためのものでレバノン国民には向けないとの立場を壊した結果、多くのレバノン人の怒りを持ったと述べた。

---

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799